

資料編

1 取組指標の基準値および目標値

施策1 豊かな自然と生物多様性を保全する

推進分野1 多様な生物の保全と外来種対策

取組指標	基準値(年度)	目標値(年度)
「環境指標の森」モニタリングの実施回数(回)	10回（令和5年度）	20回（令和14年度）
アライグマの防除従事者の人数（人） ※目標年度は県防除計画に合わせる	0人（令和5年度）	90人（令和6～10年度累計）
生物多様性に関する広報、SNS等での啓発数（回）	6回（令和5年度）	12回（令和14年度）
生物多様性に関する講座の参加者数（人）	249人（令和5年度）	400人（令和14年度）

推進分野2 自然とのふれあいの推進

取組指標	基準値(年度)	目標値(年度)
自然環境に関する広報、SNS等での啓発数（回）	6回（令和5年度）	12回（令和14年度）
自然環境学習の参加者数（人）	285人（令和5年度）	500人（令和14年度）
環境課出前講座（テーマ：自然環境）を実施した小学校数（校）	6校 (令和1～5年度累計)	11校 (令和6～14年度累計)
地域団体や学校と連携して事業を実施した回数（回）	3回（令和5年度）	10回（令和14年度）

推進分野3 里地里山の維持保全と環境配慮

取組指標	基準値(年度)	目標値(年度)
担い手農家に集約されている農地面積の割合（%）	49.7%（令和5年度）	52.7%（令和14年度）
新規就農者数（人）	2人（令和5年度）	6人（令和14年度）
有害鳥獣の捕獲頭数（頭） ※目標年度は鳥獣被害防止計画に合わせる	875頭（令和5年度）	800頭（令和7年度）
適切に管理されている人工林の割合（%）	55%（令和5年度）	60%（令和14年度）
荒廃森林再生事業の実施面積（ha）	27.06ha（令和5年度）	30ha（令和14年度）

施策2 廃棄物の減量と適正処理を推進する

推進分野1 ごみ減量とリサイクルの推進

取組指標	基準値(年度)	目標値(年度)
ごみの分別に関する出前講座の開催数（回）	5回（令和5年度）	10回（令和14年度）
環境教育副読本のごみに関するページの活用率（%）	100%（令和5年度）	100%（令和14年度）
分別間違いの割合（%）	15.7%（令和5年度）	10.5%（令和14年度）
家庭から排出される市民1人1日当たりのごみの排出量（g）	515.77g（令和5年度）	505g（令和14年度）
プラスチックごみ削減にかかる啓発（回）	実施なし（令和5年度）	10回（令和14年度）

推進分野2 廃棄物の適正な処理

取組指標	基準値(年度)	目標値(年度)
不法投棄に関するパトロール回数（回）	46回（令和5年度）	30回（令和14年）
不法投棄などの不適切なごみの処理が発見・通報された件数（件）	46件（令和5年度）	30件（令和14年）

施策3 地球温暖化対策と気候変動適応策を推進する

推進分野1 省エネルギー施策の普及・啓発

取組指標	基準値(年度)	目標値(年度)
事業者を対象とした脱炭素、省エネルギーにかかる啓発回数（回）	4回（令和5年度）	12回（令和14年度）
デコ活にかかる広報（回）	2回（令和5年度）	12回（令和14年度）
「筑紫野市役所環境にやさしい行動計画パートV」の項目別目標達成割合（%） ※目標年度は環境にやさしい行動計画に合わせる	40%（令和5年度）	100%（令和7年度）
住宅改修工事等補助金の補助件数（件）	135件（令和5年度）	135件（令和14年度）
親子や子どもを対象とした講座で地球温暖化の啓発を行った回数（回）	2回（令和5年度）	10回（令和14年度）

推進分野2 再生可能エネルギーの導入と公共交通の利用促進

取組指標	基準値(年度)	目標値(年度)
環境に配慮した公用車の導入率（%） ※目標年度は環境にやさしい行動計画に合わせる	81.5%（令和5年度）	85%（令和7年度）
公共施設の再生可能エネルギー導入状況（kW）	104 kW (令和5年度)	基準値より増 (令和14年度)
エコエネルギー導入促進補助金の交付件数（件）	419件 (令和5年度までの累計)	481件 (令和14年度までの累計)
コミュニティバス等の利用者数（人）	247,269人 (令和5年度)	247,269人 (令和14年度)

推進分野3 気候変動の影響への対応

取組指標	基準値(年度)	目標値(年度)
防災訓練および学習会を実施した自主防災組織の割合（%）	65%（令和5年度）	91.5%（令和14年度）
気候変動に関する広報、SNS等での啓発数（回）	0回（令和5年度）	10回（令和14年度）
熱中症予防啓発数（回）	41回（令和5年度）	50回（令和14年度）
防災に関する出前講座の開催数（回）	26回（令和5年度）	26回（令和14年度）

施策4 良好的な生活環境を形成する

推進分野1 住みよい生活環境の確保

取組指標	基準値(年度)	目標値(年度)
公共用海域水質調査の測定値 (基準値超過の有無)	環境基準値超過あり (令和5年度)	環境基準値内 (令和14年度)
自動車道路騒音調査の測定値 (基準値超過の有無)	環境基準値内 (令和5年度)	環境基準値内 (令和14年度)
下水道普及率(公共下水道・農業集落排水) (%)	97.99% (令和5年度)	98.50% (令和14年度)
水洗化率(公共下水道・農業集落排水) (%)	98.51% (令和5年度)	99.00% (令和14年度)

推進分野2 快適な生活環境の実現

取組指標	基準値(年度)	目標値(年度)
ペット、小動物に関する苦情・トラブル・事故件数(件) ※野良猫を含む。野生生物は除く。	75件(令和5年度)	50件(令和14年度)
公害の苦情及び相談件数(騒音・振動、悪臭等)(件)	44件(令和5年度)	30件(令和14年度)
所有地の管理に関する相談件数(件)	64件(令和5年度)	50件(令和14年度)
生活環境に関する広報、SNSでの啓発数(回)	8回(令和5年度)	15回(令和14年度)
ごみゼロ運動の参加者数(人)	32,427人(令和5年度)	40,000人(令和14年度)

推進分野3 都市空間の整備

取組指標	基準値(年度)	目標値(年度)
公園の樹木や街路樹に関する相談件数(件)	62件(令和5年度)	47件(令和14年度)
市民が触れることができるよう整備活用されている史跡等の数(累計)	8箇所(令和5年度)	14箇所(令和14年度)

2 計画の策定経過

日 付	内 容
令和元年 7 月 26 日（金）	令和元年度 第 1 回環境審議会（策定スケジュール報告）
令和元年 7 月～8 月	市主催自然観察会の参加者アンケート調査（22 世帯）
令和元年 9 月下旬～ 10 月下旬	市民アンケート調査（2,000 人対象、回収率 41.5%）
	事業者アンケート調査（100 社対象、回収率 42.0%）
令和元年 10 月上旬	市内コミュニティ運営協議会へのインタビュー
令和元年 11 月 1 日（金）	令和元年度 第 2 回環境審議会（進捗状況の報告）
令和 2 年 7 月 28 日（火）	令和 2 年度 第 1 回環境審議会（基礎調査結果の審議）
令和 2 年 8 月 5 日（水）	庁内関係課対象のヒアリング
令和 2 年 10 月 23 日（金）	令和 2 年度 第 2 回環境審議会（施策体系図審議）
令和 2 年 11 月 20 日（金）	令和 2 年度 第 3 回環境審議会（素案審議）
令和 2 年 11 月 18 日（水）～ 11 月 30 日（月）	市職員対象パブリックコメントの実施
令和 2 年 12 月 1 日（火）～ 令和 3 年 1 月 4 日（月）	市民対象パブリックコメントの実施
令和 3 年 1 月 25 日（月）	令和 2 年度 第 4 回環境審議会 (新型コロナウイルス感染症感染拡大予防のため中止)
令和 6 年 7 月 30 日（水）	令和 6 年度 第 1 回環境審議会（基本計画見直し）
令和 6 年 9 月 2 日（月）	令和 6 年度 第 2 回環境審議会（基本計画見直し）
令和 6 年 9 月 25 日（水）	令和 6 年度 第 3 回環境審議会（基本計画見直し 他）
令和 7 年 1 月 14 日（火）～ 令和 7 年 2 月 13 日（木）	市民対象パブリックコメントの実施
令和 7 年 3 月 25 日（火）	第三次筑紫野市環境基本計画【見直し版】策定

3 筑紫野市環境審議会委員

第三次筑紫野市環境基本計画 策定時（令和3年3月）

役職	氏名	所属団体等
会長	いわま とおる 岩間 徹	西南学院大学 名誉教授
副会長	なかやま ひろふみ 中山 裕文	九州大学大学院工学研究院 准教授
	いわくま しほ 岩熊 志保	一般社団法人まほろば自然学校 代表理事
	すぎしま よしはる 杉嶋 功治	筑紫野市小中学校校長会 二日市小学校校長
	まきぐさ ゆきお 牧草 由紀夫	福岡県筑紫保健福祉環境事務所 環境長
	まつばら しづお 松原 静雄	福岡県広域森林組合 副組合長
	にしだ なおみ 西田 尚美	特定非営利活動法人 よか隊 理事長
	みぞぐち すみこ 溝口 澄子	筑紫植物友の会 副会長
	ひらの おさむ 平野 修	市民
	たなべ ともこ 田邊 友子	市民

第三次筑紫野市環境基本計画【見直し版】策定時（令和7年3月）

役職	氏名	所属団体等
会長	なかやま ひろふみ 中山 裕文	九州大学大学院工学研究院 教授
副会長	いわくま しほ 岩熊 志保	一般社団法人まほろば自然学校 代表理事
	はやし ひろのり 林 博徳	九州大学大学院工学研究院 准教授
	たかぎ じゅんいち 高木 淳一	筑紫野市小中学校校長会 筑紫東小学校校長
	たぐち せいぞう 田口 靖三	福岡県筑紫保健福祉環境事務所 環境長
	いのうえ つよし 井上 剛士	福岡県広域森林組合 理事
	ならき まきこ 櫛木 真貴子	筑紫野市農業女性グループ協議会
	ひらの おさむ 平野 修	市民
	たなべ ともこ 田邊 友子	市民

6 筑環第 338 号
令和 6 年 7 月 30 日

筑紫野市環境審議会
会長 中山 裕文 様

筑紫野市長 平井 一三

第三次筑紫野市環境基本計画の見直しについて（諮詢）

筑紫野市環境基本条例第 9 条第 3 項の規定に基づき、下記の事項について諮詢いたします。

記

1 謝問事項

第三次筑紫野市環境基本計画の見直しについて

2 謝問理由

筑紫野市では、筑紫野市環境基本条例の基本理念の着実な実現に向け、令和 3 年 3 月に第三次筑紫野市環境基本計画を策定し、望ましい環境像「みんなでつくる みどり輝くふるさと筑紫野」を目指して環境施策を推進してまいりました。

この間、豊かな自然と生物多様性の保全、廃棄物の減量と適正処理、地球温暖化への対策、良好な生活環境の形成などの取組を進めてきましたが、進行する地球温暖化や自然環境の破壊など、現在直面する環境危機に対して社会情勢は大きく変化しています。令和 3 年 10 月には地球温暖化対策計画が改定され、2050 年度に向けての「カーボンニュートラル」が宣言されたことや、令和 5 年 3 月には「生物多様性国家戦略 2023-2030」が閣議決定され「ネイチャーポジティブ」をはじめとした新たな方針が示されました。また、国のすべての環境分野を統合する最上位計画である「第六次環境基本計画」も令和 6 年 5 月に策定され、2030 年までに目指すビジョンが提示されたところです。

こうした現状を踏まえ、環境施策のより一層の推進を図るため、第三次筑紫野市環境基本計画の見直しを実施するにあたり貴審議会の意見を求めます。

5 筑紫野市環境審議会委員からの答申書

令和6年9月25日

筑紫野市長 平井 一三 様

筑紫野市環境審議会
会長 中山 裕文

第三次筑紫野市環境基本計画の見直しについて（答申）

令和6年7月30日付け6筑環第338号で諮問があった第三次筑紫野市環境基本計画の見直しについては、筑紫野市環境基本条例第7条の規定に基づき審議を行い、案をまとめましたので、別添のとおり答申します。

また、審議会として、計画推進にあたり有効と思われる主要な意見を付しますので、これらの意見を尊重されるよう要望します。

1. 計画の推進にあたっては、市民に親しみやすい表現を用いた概要版を作成するなどにより広く周知を行い、市民、市民団体、事業者に協力を得られるよう努めること。

2. 各施策を着実に推進していくため、担当部署だけでなく、府内各部署の横断的な連携を図るとともに、計画の進行管理及び数値目標の評価を着実に行うこと。

3. 環境保全の取り組みについては、国内外の動向を踏まえつつ、福岡県や近隣市町村の動向を注視し、市特有の自然環境を保全することを踏まえて計画推進にあたられたい。

4. 2030年の二酸化炭素排出量削減目標の達成及び将来的なカーボンニュートラル実現に向けて各施策を推進するとともに、更なる脱炭素化のため、市民、事業者、行政が一体となり、筑紫野市の特色を活かした効果的な施策が展開されること。

表紙イラストの生きものについて



表紙イラストには、市内に生息する希少な生きものたちが描かれています。
ここでは、種の名称と、福岡県レッドデータブック※のカテゴリーを紹介します。

※レッドデータブックとは、絶滅のおそれのある野生の動植物のリスト（レッドリスト）及びそれらの生育・生息状況をとりまとめた本のこと。植物、哺乳類、鳥類等について改定された2011年版を「RDB2011」、爬虫類、両生類、魚類、昆虫類等について改定された2014年版を「RDB2014」という。

①アカシジミ	準絶滅危惧 (RDB2014)
②キイトトンボ	準絶滅危惧 (RDB2014)
③エヒメアヤメ	絶滅危惧ⅠA類 (RDB2011)、筑紫野市指定天然記念物
④コサメビタキ	情報不足 (RDB2011)、軽度懸念 (国際自然保護連合 RDB)
⑤二ホンアカガエル	絶滅危惧Ⅱ類 (RDB2014)
⑥ヤマトシマドジョウ	準絶滅危惧 (RDB2014)
⑦アカハライモリ	準絶滅危惧 (RDB2014)

キイトトンボ、エヒメアヤメ、コサメビタキ、二ホンアカガエルについては、本計画の18ページに写真を載せておりますので、そちらもご覧ください。